論点 平成の軌跡

1993（平成5）年12月、日本で最初の世界遺産4件（姫路城、法隆寺地域の仏教建造物、屋久島、白神山地）が登録された。以来、四半世紀で増え、「無形文化遺産」「世界の記憶（世界記憶遺産）」なども続いた。国連教育科学文化機関（ユネスコ）と日本の関係深化を、元事務局長の松浦晃一郎氏（81）に聞く。 【聞き手・森忠彦、写真も】

世界遺産

新しい文化創造に支援重要

松浦 晃一郎
元ユネスコ事務局長

——1999年から10年間、日本人初のユネスコ事務局長を務めました。世界遺産への関心は高まっています。

そうですね。事務局長を終えて日本に戻って以降、世界遺産の登録地や誘致活動を進めている町に呼んでいただくことが多いのですが、「世界遺産ブーム」は健在です。観光にとどまらず、文化を中心とした地方経済の起爆剤として世界遺産が大きな役割を果たしています。実にうれしいことです。

しかし、80年代末までは違う状況でした。世界遺産条約が成立したのは72年ですが、それから長らく、世界遺産は日本で認知されていませんでした。今では信じられないことですが、そのころは国内に盛り上がりもなく、外務省も文部省（当時）も、条約を批准して国内法を改正するのが煩雑なためか、批准に向けて動きませんでした。「立派な国内法（文化財保護法や自然公園法）があるのでわざわざ条約に参加する必要はない」という考えが主流だったのでしょう。

90年前後になってようやく、世界遺産の存在が広く知られるようになり、条約成立から20年もたった92年に日本は批准しました。翌93年に4件が初登録されました。それ以降はご存じの通り、せきを切ったようにブームが始まり、次々と登録が進みました。現在、国内に22件（文化遺産18件、自然遺産4件）の世界遺産があり、さらにいくつかの候補が準備を進めています。

90年代に入り、文化と自然の融合を考慮する「文化的景観」という考えが取り入れられました。今や全世界で世界遺産は1000件を超しています。数が多くなったという事情もあって来年から「各国1件のみ」の申請となり、より「狭き門」になります。今後は、審査機関である国際記念物遺跡会議（イコモス）などの協力を得ながら、登録に向けた準備を確実にしていくことが不可欠になってくるでしょう。

◆ ◆ ◆

——「無形文化遺産」などの登録も盛んです。

私が事務局長だった2003年に無形文化遺産保護条約を採択しました（発効は06年）。西欧が中心となって始めた世界遺産、特に文化遺産は建造物などの不動産が対象です。しかし、ユネスコが扱う「文化」にはさまざまな形態があります。祭りや音楽などの「無形」のものも対象にすべきではないか。日本や中国をはじめアジアやその他の地域には宗教や風習にちなんだ無形の文化が伝わっています。日本でいえば文楽や能、歌舞伎などですね。西欧の中にはいまだに「文化遺産の付随物」という考えの国もありますが、決して付随物ではありません。

日本は「無形文化遺産」に最初から熱心でした。11月にモーリシャスで開かれた委員会では「男鹿のナマハゲ」（秋田）などの伝統行事がまとまって「来訪神 仮面・仮装の神々」として登録されました。現在、国内で21件ですが、今後も新規だけでなく、類似のものが追加されるケースは増えるでしょう。ユネスコ側も望んでいますし、登録された地方の人々も大喜びです。次の登録に向けて「伝統建築工匠の技」が準備していますし、将来的には「書道」もあると思います。

日本は51年、国際社会復帰の皮切りとしてユネスコに加盟し、米国が脱退していた84年からの20年間は年間予算の25％を拠出する最大の「ドナー国」でした。にもかかわらず、ユネスコとの関係は薄かったのですが、近年、文化事業を中心に大きく進展しました。（平成時代は）「日本とユネスコが太い絆を築いた30年」と言えるでしょう。

ただ、無形文化遺産以外のその他の条約などに関する政府の動向は極めて鈍いとしか言えません。記憶遺産日本第1号となった「山本作兵衛の炭坑画」は、世界遺産に登録された明治の産業革命遺産関係の調査の中で発掘されたものでした。

——今なお日本が批准していない条約もあります。

01年採択の「水中文化遺産条約」や05年採択の「文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約」などです。水中遺産は沈船などを守る趣旨ですが、海に囲まれた日本にとっても利点は多い。文化の多様性条約は、ハリウッド映画に象徴される米国文化の世界的な席巻に対して、フランスをはじめとした欧州やカナダが求めたものです。日本も欧州に似た状況にあるわけで、世界が米国グローバリズムに染まらないためにも意義はあるでしょう。しかし、いずれもリスト登録制ではないため、日本では盛り上がっていません。

世界遺産の普及で文化の保全と活用は広く理解されるようになり、進歩してきたと思いますが、人類は未来に向けて新しい文化を「創造」していかなければなりません。そのための支援も重要です。

——未来志向の文化創造への取り組みですね。

注目されているのが、04年採択の「創造都市ネットワーク」です。音楽や食文化、デザイン、工芸など七つの創造産業分野で熱心に取り組み、国際的なメッセージを発信している都市を国を介さずにユネスコが直接、応援する取り組みです。日本では当初、関心が低かったのですが、08年に名古屋と神戸がデザイン分野で選ばれると広まり始めました。古いものを守り伝えるだけでなく、新しい時代に向けた産業として育てていくこともまた、ユネスコの大きな文化事業です。

——そのユネスコから米国は再び脱退する方針です。

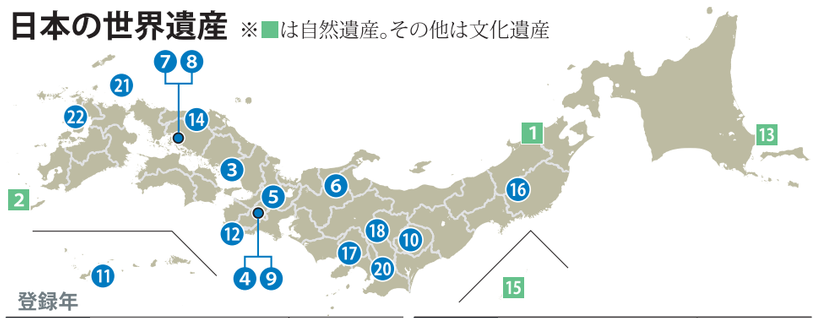
財政面だけで見ても、米国とイスラエルが今年末で脱退すると24％の予算が削減されることになります。影響は大きい。すでに職員数が減っており、定年退職したベテランの仕事を他の職員がカバーできていません。米国で現在のトランプ政権が続く以上、事態は変わらないでしょう。しかし、国との関係が切れたとしても、その分は（米国の）民間団体との交流で補ってほしい。

予算不足は続きますが、ユネスコへの期待は高まっています。文化事業ばかり注目されがちですが、ユネスコの最大業務は教育。「ユネスコスクール」などを通した各国との教育交流こそが最大の柱です。ぜひ、この分野でも日本の関心が高まっていくことを期待しています。

＝「平成の軌跡」は随時掲載します

まつうら・こういちろう
1937年生まれ。山口県出身。59年外務省入省。北米局長、外務審議官、駐仏大使などを経て99～2009年にアジア出身初のユネスコ事務局長を務めた。

日本の世界遺産 ※■は自然遺産。その他は文化遺産



登録年		
1993年	白神山地 1	青森、秋田
	屋久島 2	鹿児島
	姫路城 3	兵庫
	法隆寺地域の仏教建造物 4	奈良
94年	古都京都の文化財 5	京都、滋賀
95年	白川郷・五箇山の合掌造り集落 6	岐阜、富山
96年	原爆ドーム 7	広島
	厳島神社 8	広島
98年	古都奈良の文化財 9	奈良
99年	日光の社寺 10	栃木
2000年	琉球王国のグスクおよび関連遺産群 11	沖縄
04年	紀伊山地の霊場と参詣道 12	奈良、和歌山、三重
05年	知床 13	北海道
07年	石見銀山遺跡とその文化的景観 14	島根
11年	小笠原諸島 15	東京
	平泉 16	岩手
13年	富士山 17	静岡、山梨
14年	富岡製糸場と絹産業遺産群 18	群馬
15年	明治日本の産業革命遺産 19	福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島、山口、岩手、静岡
16年	ル・コルビュジエの建築作品 20	東京（国立西洋美術館）
17年	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 21	福岡
18年	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 22	長崎、熊本

公平な公開議論の場を

筑波大学教授
稲葉 信子

政府（文化庁）の専門家として姫路城、法隆寺地域の仏教建造物以降の文化遺産の推薦や、世界遺産委員会の審議に関わってきた。

日本が世界遺産に加わったのは1990年代に入ってからだが、90年代、2000年代、10年代と変遷を遂げてきたと思う。それ以前の80年代は助走時代で、欧州中心に進んだ。90年代には、「世界の宝」である世界遺産をどう保存し、活用していくかをユネスコがリーダーシップを取って進めた。委員会の審議も専門家中心にハイレベルな視点の議論が続き、決定もそれを反映した。理想的な時代だった。

文化と自然を融合した「文化的景観」という新しい概念が加わり、多様性の意義が付け加えられたのも本質的には高く評価していい改革だった。ただ、多様性を取り込んだことの功罪もあって、対象となり得る候補が各地で増え、2000年代になると申請数が急増した。世界遺産のブランド価値が高まり、観光面での影響が大きいこともあって各国がこぞって申請するようになり、遺産委員会も専門家だけでなく外交官が目立つようになった。そうなると専門的な協議ができなくなってしまう。審議段階で各国の外交事情が反映されるようになった。10年代になると申請数や登録数が本格的に制限されるようになり、来年からは各国1件のみという状況になっている。決して理想的な状態が続いているわけではない。

遺産委員会の開催形式を基本的に考え直し、きちんとした議論ができる体制に変える時期が来ていると思う。文化遺産の場合、諮問機関であるイコモスの判断を土台にするにしても、委員会の開催時に、各国の専門家や、（NGOなどの）国際市民の声も投影できる公平な公開議論の場も設けるべきだろう。その結果を受けて外交官や政治家も加わる本会議で最終決定する。ここである程度の政治的判断が加わるのはユネスコの機能を考えれば仕方ない。

新遺産の登録だけでなく、ユネスコには既存の遺産の「監視塔」としての役割も大きい。90年代の高らかな理念を守るのはもちろん、各国がきちんと登録遺産を保存していることを管理する役目もある。日本を含む締約国はその重要性を見直す時期だろう。

世界遺産委員会

世界遺産について話し合うためユネスコに設けられた委員会。21カ国で構成される。1975年に発効した世界遺産条約に基づき、登録の可否などを審査し、決定する。委員会の会議には、専門家で構成する諮問機関・国際記念物遺跡会議（イコモス）や、国際自然保護連合（IUCN）、非政府組織（NGO）なども参加する。

ご意見、ご感想をお寄せください。 〒100―8051毎日新聞「オピニオン」係 opinion@mainichi.co.jp

トランスコスモス株式会社 日本直販 インターネットからのご注文でメルマガ会員なら5%OFF※!
※CD・本・非課税商品（補聴器など）等一部商品は割引対象外です。 日本直販 検索

タバコが値上げ! 禁煙したい! でも吸いたい!
吸いながら卒業に近づく、そっくり電子タバコ。
食後やひと仕事の後の一服をガマンせず、1本ずつ切り替えることで禁煙を始める。
ひと口吸うと、火が灯ったように先端のLEDが光り、口いっぱいにタバコのような味が・・・。フーッと吐きだすといつものように煙（実は水蒸気）が広がり、心地よくリフレッシュできます。この充実した吸感で、ニコチンもタールもゼロ! ちょっとずつ切り替えることで、吸いながら禁煙できます。
■1本で約500回吸引できる使い切りタイプ。
■タバコとは違い、口臭・ヤニ・服に染みつくニオイなし。
■有害なニコチン・タールなし、吸わない人への副流煙の心配なし。
吸引時、先端のLEDが赤く光ります。
女性にも!
1本で約500回※吸引できる使い切りタイプ!
煙（水蒸気）量がスゴイ!
本物のタバコのようなデザインで、気軽に使えます。
体にも周囲にも優しい新習慣。
今や電子タバコは常識! 本品は、見た目から指に伝わるサイズ感、煙（水蒸気）の量までタバコそっくりの電子タバコ（日本製）です。何年も吸ってきたタバコとほとんど同じ吸感でニコチン・タールはゼロ、体にも周囲にも迷惑をかけません。吸いたくなったら吸う・・・今までのタバコを全部ガマンするのではなく、1日のうちの1本、2本と少しずつ本品に替えることで徐々にタバコ卒業に近づけます。何気なく吸い始めたタバコが一生の後悔になることも・・・。お手軽禁煙スティックで、今がやめどきです。
●1本で約500回吸引OK。禁煙に心強い約2000回分の4本セット!
※吸引可能回数は吸引時間などにより個人差があります。
●安心の日本製。
ニコチン ゼロ0※1 タール ゼロ0
※1：日本食品分析センター調べ
20歳未満の未成年者への販売はいたしません。
［●タバコ風味（ハード）×2 ●タバコ風味（マイルド）×2］
［●メンソール×2 ●ファイアミント×2］
本体4本セット 日本製
気分に合わせて楽しめる4種のフレーバー。
商品番号 220312
お手軽禁煙スティック
4,900円（税込5,292円） 200本分
送料（税込）515円、北海道・沖縄770円
▶味をお選びください。タバコ風味、メンソール
●サイズ（約）／径0.92×長12㎝（1本）●重さ（約）／15g（1本）●材質／ステンレス●電源／内蔵リチウム電池280mAh●吸引可能回数（約）／500回●生産国／日本 ※吸引可能回数は、吸引時間等により個人差があります。

お父さんの普段穿きに重宝!
ジャージのようにラクで、スラックスのように決まる!
ベルトを通せばスラックス風に。
見た目はスラックス、実はウエストが総ゴムでジャージのようにラクな穿き心地。食後もボタンを外す必要はありません。また、裏面が起毛仕立てなので肌ざわりが優しく、穿いた瞬間から暖か。サイズが3Lまであり、股下丈が選べるので面倒な裾直しは不要。上質感のある杢調生地を使用した安心の日本製で、外出時にはベルトを通せば格好よく決まりますよ。
ベルト通し
その上、あったかい!
裏地は暖かな起毛仕立て!
あぐらをかいても突っ張らず、ラクで暖かい。
3色組 同サイズ ●チャコールグレー ●ブラウン ●ネイビー
着回しOKの3本組!
1本あたり 約2,967円（税抜）
◎ウエスト総ゴム ◎両脇ポケット ◎前ファスナー
日本製
商品番号 121016
裾直し不要 お父さんの腰楽あったかパンツ3本組
M・L・LL・3L 各8,900円（税込9,612円）
送料（税込）955円、北海道1,285円、沖縄1,950円
●色／ブラウン、ネイビー、チャコールグレーの3色組
●素材／ポリエステル100%●生産国／日本
●ネイビー ●ブラウン ●チャコールグレー
いいね!
タテにもヨコにも のび～る
▼股下・サイズをお選びください。
■股下／60㎝、64㎝、68㎝
3Lまで 洗濯機
選べる股下丈 ●60㎝ ●64㎝ ●68㎝

サイズ	ウエスト	股上
M	(76～84)	29
L	(84～94)	30
LL	(94～104)	31
3L	(104～114)	32

※（ ）内はヌード寸法 単位：㎝（約）

広告番号 111212
電話でのご注文は携帯電話からも通話料無料
通話料無料 0120-03-1100
■朝9時から夜9時まで（日・祝も受付）
安心!嬉しい!あとから払い。
※インターネット注文での後払いは対応しておりません。
■ご注文合計15,000円（税抜）から送料無料。※同時注文、同一お届け住所なら税込955円（北海道・沖縄は税込1,285円）以下の送料は無料です。
62円 郵便はがき 530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-200 大阪駅前第2ビル2階 日本直販 広告番号 111212
●商品名●商品番号●価格●数量●色やサイズ等の種別●支払い方法（一括振込・分割・代引き）※携帯電話番号のみの方は代引きとなります。●住所●氏名（フリガナ）●自宅電話番号（なければ携帯電話番号）●生年月日（任意）
FAXでのご注文は上記事項でご記入ください
FAX 0120-23-0023（24時間受付）
日本直販 検索
ネット注文でメルマガ会員なら、5%OFF※
※非課税商品（補聴器など）・CD・書籍など、一部対象外の商品があります。
※ネット注文でのお支払は代金引換かカードのみ。
■商品のお届け・お支払いは
■通常10日～2週間でお届けします。ご注文集中時は日数がかかる場合があります。■離島等で別途送料がかかる場合は弊社から電話連絡いたします。■お支払いは、同封の払込用紙で商品受け取り後10日間以内に、郵便局かコンビニか銀行で。※分割払いは第1回分のご入金、残金は月々払い。※払込手数料はお客様ご負担。■カード払いは電話かインターネットでご注文ください。■代金引換えも可（一部除く。※1回のお支払い合計金額が税込10,800円未満の場合は手数料324円必要。■弊社規定によりお支払い方法を変更させて頂く場合があります。
■ご返品について
■商品到着後10日間以内ならご返品可能（承れない場合がありますので必ず返品前にご連絡ください）。返送料は、不良品の返品は当社負担、お客様ご都合の返品はお客様ご負担となります。尚、不良品の場合を除き、商品開封後の返品はできません。
弊社は、お客様の個人情報の保護を実践しています。詳しくは弊社ホームページへ。
カタログ・資料請求は無料です。
トランスコスモス株式会社 日本直販事業
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-200大阪駅前第2ビル2階
trans cosmos 日本直販 JADMA 公益社団法人 日本通信販売協会会員